

近畿大学医学部 推薦 2014 年

論題：「医師偏在について」

今日、医師の地域偏在が大きな社会問題となっている。都道府県別にみると、東北地区、中国四国地区など地方の病院における医師不足は深刻だ。これらの病院の中には、医師不足を理由に、外来の閉鎖、休止、縮小を余儀なくされているところも増えてきている。

2004年4月に開始された「新医師臨床研修制度」は医師偏在の大きな原因の1つである。新制度により研修先として都市部の病院を選ぶ新人医師が増えたことで、地方の大学病院は市中病院から中堅医師を引き揚げ、市中病院では医師不足が生じることになったのだ。

現在、大学では医学部入試に「地方枠」を設けるなどの取り組みを行っている。今後は、必要な地域に医学部を新設する必要がある。また、地域医療を守るのは医療関係者だけでなく住民ひとりひとりの役割でもあるという意識を持ち、医師が働きやすい環境を地域全体で作っていくことも大切だ。

〈解答例＝内倉〉